



伊藤 光男さん・みとりさん(上飯樋)
農業と勤めの兼業の中、二人で助け合いながら過ごした50年は「長いようであつという間だった」とのこと。「大変なことも二人でいれば乗り越えられる。これからも健康第一に、一緒に過ごしていきたいです」。



佐藤 省一さん・フサ子さん(関根・松塚)
当時知人の紹介で出会ったお二人。「50年はあつという間だぞ」と時の流れの早さを実感。「我慢をした日もあったけれど、お互いを思いやり、これからも当たり前のように隣にいる存在であり続けたいです」。



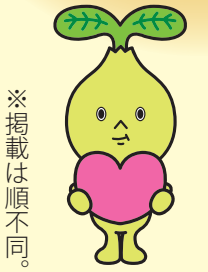
木幡 秀和さん・由美子さん(伊丹沢)
友人の結婚式で出会い、そこから1か月での結婚。「喧嘩をした日もあったけど、気づいたら自然と仲直りして、あつという間の50年でした」。健康の秘訣は毎日の散歩と三食のご飯をしっかり食べること！



佐藤 博さん・洋子さん(二枚橋・須萱)
「いいたて佐藤いちご園」を経営するお二人。「50年は通過点、今までの思い出は忘れられないものばかり」と振り返りました。「いちごを通した子ども達や村民との交流を、これからも仲良く続けていきたい」。



高橋 則雄さん・ヤス子さん(二枚橋・須萱)
当時の青年会の交流で出会ったお二人は、どこへ行くにもいつも一緒です。共通の趣味であるパークゴルフでは、夫婦ともに何度も賞を獲るほど！「これからも元気いっぱい夫婦で過ごしていきます」。



夫婦円満の秘訣は、お互いの話をよく聞き、役割分担をしっかりとすることだそうです。お孫さん達から贈られた記念の色紙が何よりもうれしい様子。結婚式の時に歌を歌うのが楽しみだと語りました。



高野 勝幸さん・恵子さん(前田・八和木)

方も何組かいらっしゃいます。取材を通して昔を思い出す方、改めて想いを伝える方、恥ずかしそうに笑顔を浮かべながらもどこかうれしそうに互いを見つめる方…。そんな愛にあふれたご夫婦の想いや出会いのエピソードを、寄り添う素敵な笑顔と共に紹介します。

めでたく金婚を迎えられたご夫婦へ、10月中旬、杉岡村長より、褒状と金婚祝い品を贈呈させていただきました。今年50周年を迎えられたご夫婦は、生活改善センター(現交流センター「ふれ愛館」)が建設された年に結婚された方々で、同施設で結婚式を挙げたという



佐藤 昇さん・敏子さん(草野)

土地改良区職員、役場職員として、同じ職場で働いていたお二人。村を支え、互いを支えて過ごした50年でした。「言いたいことを互いになんでも言える関係」であることが、仲良しの秘訣と語りました。



長谷川 秀義さん・佳代子さん(宮内)
職場の出会いで結婚し、酪農農家として支え合ってきました。互いに「苦労をかけたなあ」と語りながらも、苦楽を共にすることで想い合える二人となりました。兄弟と集まるのがこれからの楽しみだそうです。



松林 正一さん・仁子さん(大久保・外内)
幼馴染だったお二人。互いに「よい父親だ」「よいお母さんだ」と語り合う姿はまさに理想の夫婦です。「50年はあつという間。当たり前時間に時間が流れただけ。これからも家族みんなで楽しく過ごしていきます」。



巻野 三男さん・陽子さん(伊丹沢)
高校で出会ったお二人は、どんな時も一緒。「支えられてきた。一緒にいられて楽しい」と語る三男さんに「汗が出ちゃう」と笑顔の陽子さん。「想い合ってきたからこそ、どんなことでも乗り越えていけます」。



菅野 啓一さん・忠子さん(比曽)
結婚当初から共に農業を営んできたお二人。子ども達も農業を覚えて、一緒に花を育てる日々が楽しみです。「これからも花を通して飯館村をたくさん発信していきたい」と笑顔で意気込みを語りました。



鳴原 良友さん・美佐江さん(長泥)
知人の紹介で出会ったお二人。酪農と勤めの兼業で大変な日々でしたが、支え合って過ごしてきました。「『ありがとう』『好き』をしっかり言葉で伝える事が大事だよ」と少し照れつつ優しい笑顔で語りました。



鳴原 清三さん・利江さん(長泥)
小さい頃から知り合いだったお二人。利江さんは結婚してから農業を覚え、共に支え合って過ごしてきました。「農業は一人ではできない。互いの信頼と助け合いが大事」とそれぞれに感謝を伝えていました。